

だいどう豊里駅

Osaka Metro まちさんぽ

今里筋線 だいどう豊里駅

おおすみ 大隅島の大道村

おおすみのみや ちゅうしまき

大隅宮、乳牛牧から 四天王寺候補地だった豊里へ

鎌倉時代初期に大日房能忍のうにんという禅僧がこの地に七堂伽藍四十八房を備えた三宝寺という巨刹を建てました。寺院の大道が縦横に通じていたので、大道という地名が残ったとされています。大道は昭和55年(1980)に大桐に改名されましたが、両地名が存在するので駅名は「だいどう」です。



乳牛牧跡



平太の渡し跡



スタート駅 今里筋線	1 乳牛牧跡	2 逆巻の地蔵尊	3 大隅神社	4 澤田家・大澤寺	5 大宮	6 平田の渡し (平太の渡し)	7 豊里大橋	ゴール駅 谷町線 今里筋線 太子橋今市駅
---------------	-----------	-------------	-----------	--------------	---------	-----------------------	-----------	-------------------------------

大道村と豊里村は、淀川と三国川(安威川・のちの神崎川)に挟まれたところです。古代には大隅島と呼ばれ、6世紀前半の安閑天皇の頃に乳牛が放牧されたと『続日本紀』にあります。豊里村は淀川改修工事で分断されて大半が川底に沈みましたが、聖徳太子が四天王寺建立の候補地とした場所だとされています。

だいでう豊里駅
90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

今里筋線 だいでう豊里駅

大隅島の大道村

おおすみのみや ちゅうしまき

大隅宮、乳牛牧から四天王寺候補地だった豊里へ

鎌倉時代初期に大日房能忍という禅僧がこの地に七堂伽藍四十八房を備えた三宝寺という巨刹を建てました。寺院は戦乱にまみれて廃絶しましたが、寺院の大道が縦横に通じていたので、大道という地名が残ったとされています。大道は昭和55年(1980)に大桐に改名されましたが、両地名が存在するので駅名は「だいでう」です。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

今里筋線だいでう豊里駅①号出口

谷町線・今里筋線太子橋今市駅

1 乳牛牧跡

ここは宮廷の典薬寮に属した牛の放牧地で乳牛牧と呼ばれていました。牧の住民は牛乳や蘇(チーズ)、酪(ヨーグルト)といった乳製品を朝廷に収めていました。朝廷や貴族の間で薬料として用いられていて、後鳥羽天皇の病がこの黄牛からとった牛乳で平癒したという伝承もあります。中島用水路跡で、ここに「乳牛牧跡」の碑があります。



2 逆巻の地藏尊

「阪巻」は現在の豊里大橋の北詰あたりの地名で、淀川が急流で渦巻き、転覆を防ぐために船の帆を逆に巻き付けて航行したそうです。水難事故が絶えず、弘化3年(1846)に逆巻地藏尊が置かれ、淀川改修工事で水没するため移転して、大正時代にここに安置されました。



3 大隅神社

応神天皇の離宮・大隅宮の跡に建てられたのが起源とされています。ここは千里丘陵から延びた砂堆の上の高地になっていて、応神天皇が大隅島にあった大隅宮から難波大津を出る船を見送ったという『日本書紀』の記述が立証できるといわれています。神社は元禄の頃に荒廃し、曹洞宗の僧・大順が乳牛山大道寺として再興しましたが、明治の神仏分離で大隅神社になりました。拜殿前に狛犬がずらりと並ぶ光景は珍しいものです。



4 澤田家・大澤寺

地元の名家・澤田家出身の澤田太郎左衛門は、大坂夏の陣で住民が豊臣方に味方するなかで、酒井 雅楽頭と親交があった縁で徳川方に与し、その恩賞として淀川16か所の渡船権利を受け、のちに木津川や堂島川の渡船特権も得るなどして大富豪になりました。大澤寺は澤田家が建立した菩提寺です。



5 大宮

大宮は豊里村の鎮守で明治43年(1910)まで大宮神社と呼ばれていました。祭神はこの地に牛を放つことを命じた安閑天皇です。また、豊里の名は聖徳太子の別称・豊聡耳皇子からとされます。太子はこの地に四天王寺を建立しようとしたが、淀川の氾濫が懸念されたので現在の天王寺の場所に決まりました。ここには天王寺庄という地名が大正時代まで残っていました。かつての大宮神社は旧淀川右岸に接した場所にあり、境内は杉、松の大樹がそびえた広大な森でしたが、淀川改修で大半は水没し、明治33年(1900)に現在地に遷座されています。

6 平田の渡し(平太の渡し)

幕府より渡船権利を得た澤田家は、延宝4年(1676)頃より平田の渡しの営業を開始します。澤田家の当主は歴代、澤田佐平太と名乗り、平田の渡しは平太の渡しとも呼ばれました。大正14年(1925)に大阪市営になり、戦後に発動機船になって最盛期には1日3,000人と670台の自転車を運びました。昭和45年(1970)の豊里大橋開通とともに300年の歴史を閉じました。



7 豊里大橋

昭和45年(1970)、大阪万博開幕直前に開通した橋長561mの斜張橋です。豊里大橋開通で淀川最後の渡船、平田の渡しが廃止されました。すぐ上流に、かつて行基が高瀬大橋を架けたとされています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2023年9月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行